

◆活動団体

団体名： NPO法人浜田芸術文化のまちづくり推進協会

連絡先：TEL 0855 - 22 - 2709 メール：hisashi.seian@brown.plala.or.jp

URL：（準備中）

◆活動内容

〈新たな街道文化創出の事業〉

- 1 地方創生事業に係る「まちづくり推進セミナー in Hamada」の開催
 - ① 講話 「地域産物の思考方法 “浜田からの発信” を考える」
 - ② NPO 地域振興企画の発表「浜田ブランドの地域産物創出事業の提案」
- 2 夢街道ルネサンス「夢街道 “浜田城… 江戸から明治へのみち” 歴史散策
- 3 国際的舞台芸術家 KIMI MAEDA（日米友好基金留学生 米国ワシントン DC・創作芸術家奨学金選抜授与留学生）の受入、支援及び国際文化交流の推進
- 4 「夢街道 “浜田城… 江戸から明治へのみち” トレイルルート観光案内パネルの設置

1 地方創生事業に係る「まちづくり推進セミナー in Hamada」の開催

「夢街道 “浜田城… 江戸から明治へのみち” に係る「新たな街道文化創出事推進」の初年度として、「思考社会における市民協働のまちづくりの考え方」を示すことを目的として開催した。

- ・ 開催日時、場所 2017.6.16（金）14:00～17:00 ジョイプラザ浜田
- ・ 参加者 一般市民、NPO法人関係者 計 85名
- ① 講話（プレゼンテーション） 講師 田中万成（IT技術者）
 「地域産物の思考方法 “浜田からの発信” を考える」
 （「些細な物の中に潜む地域産物開発のヒント」）
- ② プレゼンテーション「浜田ブランドの地域産物創出事業の提案」
 （NPO法人企画「歴史的資源を活用した地域振興事業企画書」の説明
- ③ 「市民まちづくり交流会（意見交換会）」



☆ 課題

IT技術者から起業した講師のプレゼンテーション、当法人の「地域振興事業企画書」の発表に加え、まちづくりに関する意見交換の場として「市民まちづくり交流会」で構成する企画であったが、参加者は予定の半数に留まった。市民へのイベントや行事の周知は、地元自治体の協力なくしては成り立たない。

どうすれば自治体は動くのか、“夢街道ルネサンス”の事業を推進する団体にとってには困難な課題である。

2 夢街道「浜田城…江戸から明治へのみち」歴史散策

夢街道ルネサンスのトレイルルートに点在する浜田藩4家18代248年のロマンと盛衰の跡をめぐる「浜田市石見公民館活動・ふるさと地域学習」と連携して開催。

- ・開催日 2017.10.21 (土)・11.18 (土) 参加人員 各日とも市民20名
- ・資料「夢街道「浜田城…江戸から明治へのみち」」のルート案内パンフレット

☆ 歴史散策の風景

2017.10.21 (土) 浜田藩歴代藩主の碑 → 越智松平家第二代藩主武揚の廟 → 浜田城裏門 → 硝煙蔵跡 → 三の丸・二ノ丸 → 本丸へ



2017.11.18 (土) 明治の御殿「御便殿」→ 栗島公園・宝福寺（加賀見山旧錦絵お初の墓、歌舞伎・尾上梅幸揮毫の碑、征長の役の百度石）



浄土宗極楽寺（徳川第二代将軍秀忠公の拝墓、金箔厨子入り大型位牌）



☆ 参加加者の感想

- ・ 浜田は何も無いところと思っていたが、史跡の多いことに驚いた。
- ・ 「夢街道ルネサンス」というネーミングが魅力的だ。
- ・ 夢街道ルートの案内パンフの物語を読みながら史跡を歩くと楽しい。
- ・ 国内や外国からも多くの観光客が来てくれることを期待している。

☆ 課題

「夢街道ルネサンス」に係る事業推進については、未だ市民に認知されていない。今後も積極的に各公民館の文化活動と連携して取組む努力が重要と考える。

3 国際的舞台芸術家 KIMI MAEDA（日米友好基金留学生 米国ワシントン DC・創作芸術家奨学金選抜授与留学生）の受入、支援及び国際文化交流の推進

(1) 事業の目的

夢街道ルネサンスに係る「新たな街道文化の創出」の事業の一環として米国から留学生を受入れ、国際文化交流を推進することにより地域の芸術文化の発展に資することを目的とする。

(2) 留学生の滞在期間及び研究課題

- ① 留学期間 平成 29 年 7 月 ～ 11 月
- ② 研究課題 石見神楽文化の研究（神楽と地域・社会生活）、リズム、パフォーマンス、神楽面・蛇胴・衣装等の制作など。
- ③ 芸術・文化の国際交流（留学生と地域との文化交流）の推進。

(3) 留学生の支援及び国際芸術文化交流の内容

- ① 留学生の日常生活のサポート、石見神楽・出雲神楽に係る文献・資料・CD-ROM の収集及び提供 → NPO 法人浜田芸術文化のまちづくり推進協会
- ② 石見神楽に関する諸文化の体験・製作その他国際交流
 - * 神楽面の製作 → 柿田神楽面工房
 - * 神楽舞・囃子 → 浜田商業高校
 - * 神楽衣装・蛇胴の製作 → 社会福祉法人いわみ福祉会「桑の木」
 - * 能面彫刻（木彫）→ 能面彫刻同好会（浜田市石見公民館活動）
 - * 「南京玉すだれ（芸能）」の技能習得 → 浜田市福祉センター「老人会」
 - * 芸術文化の交流 → 大学祭に参加し学生・教授等・外からの留学生と交流
 - * 石見地方の市民を対象に、KIMI MAEDA 創作「BEND」を日本初上演

以上、さまざまな国際文化交流が行われ、留学生は「キミさん」の愛称で呼ばれるほど、この地方では人気を博した。

☆ 国際的舞台芸術家「BEND」創作・上演風景

2017. 11. 18（金） 島根県立大学交流センター 来場者 400 人



☆ 今後への期待

留学の研究テーマ「石見神楽の文化」は、近い将来、キミ・マエダ氏の新たなモチーフとして、創作上演をとおして世界に紹介され、浜田市のみならず本県の国際的な観光交流の推進に資するものと期待される。

(パネル B面)

The collage contains several articles and photos. On the left, there are photos of a park and a building. The top right features a large photo of a lake and mountains. The middle section has several smaller photos of buildings and people. The text is in Japanese, with some English subtitles or captions. The overall theme appears to be local news or community events.

☆ 事業推進における今後の課題 (まちづくり活動を通して感じたこと)

人口減少等による地方消滅の危機が叫ばれて久しいが、「まちづくり」に取り組む個人や団体の活動をサポートする立場にある地方自治体の行動が伴わなければ、「市民協働のまちづくり」の活動は忽ち頓挫する。「夢街道ルネサンス」も認知されているとは言い難く、当団体も例外なくその危機に直面している。

市民の活動から生まれた提案や事業企画という成果物に地元自治体が無関心であれば、市民の折角の苦労は徒労に帰し前途に失望する。そして次第に「まちづくり活動」を支える動力源(モチベーション)を失う。将来を見据え「まちづくり」の夢という目標さえも捨ててしまう。

ふるさと石見は依然として人口減少が続き社会経済活動の縮小が進んでいる。NPOの活動として取材で歩いていると、地域の人たちは「この街には先行き夢がない」という。地方自治体の責任ある人たちは、この現状をどう捉えているのだろうか、今こそ夢を語るべきではないか。「まちづくり」の動力を担う市民に「どういう手段でどういう街に再生する」のか、地方創生の夢を語って貰いたい。「まちづくり」を担う住民の動力源となる夢というモチベーションを与えていただくことを切に願っている。